

第 15 回 教育サロン in 関東 アンケート集計報告書

教育サロン事務局

2014 年 6 月

目次

1. 開催に向けた思い	1
2. プログラム・実施概要	1
3. アンケート集計結果	2
3.1. 満足度について	3
3.2. 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」について	4
3.3. 「熊谷太郎氏の話題提供」について	5
3.4. 「話題提供をふまえたグループでのふりかえり・全体共有」について	6
3.5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマについて	7
3.6. 自由記述	8

1. 開催に向けた思い

以下、開催案内から抜粋

「教育サロン」とは、「学生に対する願い」「授業に対するこだわり」「ご自身の専門分野に対する想い」などをお持ちの方々が、経歴、専門分野、授業内容、向き合う学生、それらの違いを超え、テーマについてざくばらんに語り合う場です。話題提供していただく先生もいらっしゃいますが、その内容だけにとらわれることなく、むしろ触発されて出てきた、参加者の方々のワクワク感、嬉しかったこと、またお悩み、学生さんのお話などを、話していただけるような場になればと思っております。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

2. プログラム・実施概要

● 実施日・ご参加者数

実施日：2014年6月7日（月）

ご参加者 14名

● プログラム

13:00 開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏

13:10 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」

15:00 話題提供、質疑応答

松山大学 経済学部 教授 熊谷太郎氏

「学生の『学び』を深めることを考えたらこんな授業になりました」

「経済政策論Ⅰ」 なぜこのような授業に至ったのか？など背景、動機を含め提供します。

[2014年度前期テーマ：財政・金融政策、社会保障：医療と年金、若年者就業と雇用問題]

講義中はもちろん、講義以外の時間で学生が学びを深めるためにはどうしたらよいか真剣に考えてきました。その1つの結論として、教えることと学ぶための時間のバランスが大切なのだと考えるようになりました。もちろん、時間外だから自由に学んでくださいだと、学生は路頭に迷うことになります。学びを深めるための仕掛け作りをこちらで用意すれば学生は学びを深めるだけでなく、学生が学ぶ習慣づくりの手助けになります。学ぶ学生を見ることで、また教員も学びを深め、良い循環が生まれることをお話します。

【プロフィール】

専門は、ゲーム理論、法と経済学・契約理論などの応用ミクロ経済学。担当科目は経済政策論以外に、公共経済学、ミクロ経済学入門、演習など。2012年から講義内容の改革に取り組み、今年で3年目。学生を信じ、何を身につけてもらいたいかを明確にし、講義改革を行うことが大切と感じている。

15:55 話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有

17:45 まとめ（18:00 終了）

3. アンケート集計結果

アンケートについては、以下のアンケートを実施しました。

アンケートご回答者数：9名

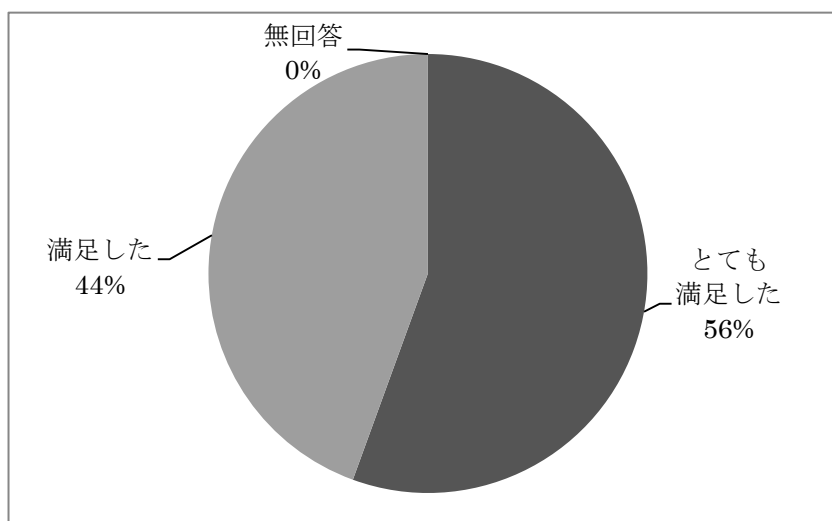
第15回 教育サロンin 関東 教員×職員 「学生が『学ぶ』関わり方を考える～授業の工夫や学生支援のヒントを探る～」アンケート					
本日は、ご参加ありがとうございました。今後のより良い「場創り」のため、アンケートにご協力ください。					
1. 本日の満足度について教えてください。 また、その理由についてお聞かせください。	とても 満足した	満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	ぜんぜん満足 しなかった
<div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;">(理由)</div>					
2. プログラム「学習スタイル、記者会見」などをご体験いただいて感じたことをご自由にお書きください。					
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>					
3. プログラム「熊谷太郎氏の話提供」について、感じたことをご自由にお書きください。					
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>					
4. プログラム「話提供をふまえたグループでのふりかえり」について、感じたことをご自由にお書きください。					
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>					
5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマはございますか？ もしありましたら、ご自由にお書きください。					
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>					
6. その他、ご自由にお書きください。					
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>					
貴学名 _____ ご芳名 _____					
ご協力ありがとうございました。今後ともいい「場創り」にご協力・ご支援をお願いいたします。 教育サロン事務局					

フリーコメントについては、皆さまにご記載いただいた内容をそのまま掲載しております。

また、フリーコメント中の「●●」は読み取りが出来なかった部分を表しております。

3.1. 満足度について

- Q1. 本日の満足度について教えてください。



満足度		とても満足した	満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	ぜんぜん満足 しなかった	無回答
全体	9	5	4	0	0	0	0
		27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0

「とても満足した」回答群

話題提供の資料作成のたびに、課題発見やまとめができる。

沢山ヒントや気づきが得られました

今後、教員はどのような位置に立たなければならないのかが、少しずつ見えてきたのではないかと思います。

今考えていること、今実践をはじめたこと、考えなくてはいけないと思っていたことに関連したテーマだった

あつという間の5●●でした。ICE BREAK からスタートした全部の方が初対面という中で濃い時間、普段学内ではなかなか口にしないような疑問や意見もお互い共有しあえ、Valuable でした!!

「満足した」回答群

熊谷氏の授業スタイルについて、ご本人から内容を聞く事が出来、集まった方々と話が出来たので

様々な立場からの意見も聞けて良かった反面、もっと教え方の工夫そのものについて話も深めていきかけたです

大教室でのグループワークについて具体的なお話を聞く事ができた

いろいろな見方・考え方ができた。一人では思いもよらないことがあるので

3.2. 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」について

回答
メンバーが違うと視点も雰囲気も違うので新鮮。また相手を知りたい気持ちが強くなっている感覚がある。
学びのスタイルは安定していることが確認できました
自分の学習スタイルは平均に近いなと思ったので、これから自分の得意分野をみがいていきたいと感じた。
知り合うにはいいやり方だと思います。
名前に加え、趣味なども書き、個人としてお互いを知りあう事を目的とするのか、教育に対する問題点に踏み込むのかがあいまいだった。
記者会見の形で事項紹介をするのは比較的短時間で人柄にふれられるのでおもしろいと思う。
特に「記者会見」は ICEBREAK に最適だった。「学習スタイル」は自分でも思っていない結果だった「今の真の自分」の思考・行動パターンを知ることができて面白かった。
学習スタイルこれまでとちがったプロフィールが出来た。自分の最近の変化について確認できた
他の人々の考え方などはよくわかったのに、自分のことはうまく話せなかった気がする

3.3. 「熊谷太郎氏の話提供」について

回答
授業のプロセスを紹介してもらったので、多くの気づきがありました
自分と重なるところはいくつかあったので、これからの教育実践の中で、私自身はティーチャーでもあり、ファシリテーターにはならなくてはいけないと感じた。
とても参考になりました。
これまでの授業の在り方に疑問を持ったところから、授業改善された経緯など詳しく伺うことが出来、大変参考になりました。
30 グループでの活動というのは、実際に話を聞いてもやはり驚き大きい。
思い切った方法まで行っていると感心。学生の視点、学びの定着などには効果がありそう。
実践的な内容。「大学教員が墮り易いことは、学部や学科に関係なく共通にいることを認識できた。教員と学生は人間対人間、自分自身を磨きあげていかなければならないことも痛感した
たいへんすぐれた取り組みでいらっしゃるので、このような授業改善は組織化、組織的なバックアップなどがあると もっとよいと思った。事例の共有にはじまって、学部のカリキュラムの中で、有機的に推進できたらより素晴らしいのでは

3.4. 「話題提供をふまえたグループでのふりかえり・全体共有」について

回答
大学のみならず、中等教育でも同様の悩みを持っている。何か連携できないだろうか？
途中で帰った人がいたので、二人だけのグループとなったが楽しく話せたので、人数には関係なくグループは成り立つと実感した
他の人の意見を聞いていくうちに、自分と共通した悩みや考えがあったり、自分がグループを作る上でわからないところをはっきりとできたりと有意義な時間でした。
アクティブラーニングの重要性についてもう一度考えさせられた
グループでのふり返しよりもっと、発信者に直接質問する時間を取ってほしかった。
職場が違ってそれぞれに学生・生徒の事を考えて皆さんが日々を送っているのを知り、励みになる。
大学が授業のメソッドについて、丸の組織的とり組みができていないことが改めて共有された⇒が今回の先例が各々の教育の場の変化につながればと思う。
今大切なものは何だろうかという気になった。
FD(自分自身の Development)のためにできることの中に、大学教員同志がアドバイスし合うということが含まれておらず、違和感があることを伝えられた

3.5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマについて

回答
「まちづくり」授業、「BOPベースメント・オブ・ピラミッド」授業を紹介してもらおうとありがたいです
特にありません(しかし、学びの共同体についてやってみたいです)
大教室のアクティブラーニング、PBL の具体例
ライティングに関することを聴いてみたいし、自分も発表できるような実践ができればいつか発表させて頂きたいと決意できました。
あまり詳しく考えていないためか、よくわからない

3.6. 自由記述

回答
皆様お疲れさま。門脇先生ありがとうございました
特にありません
とても勉強になりました。ありがとうございました。
また機会があれば参加したい
3日前まで参加させていただこうか迷っていましたが、参加させていただけて本当に良かったです。たくさんのヒントを頂きました！